	いきいき久間っ子の育成 くま：工夫して学ぶ子 つ　：強くてたくましい子 こ　：心やさしい子	学校だより ガンバルンジャーズ	NO. 13 令和４年９月 13 日 嬉野市立久間小学校 文責 校長 坂本和子

4年生「川の生き物を調べよう！」（8月30日）

久間コミ活動で、４年生が地域コミュニティとの連携授業で、学校下の北目川の水質調査を行いました。

６月 22 日に八幡川でウナギ・モクズガニを放流した４年生にとっては２回目の川での授業となり、子ども達もとても心待ちにしていました。坂本兼吾先生のご指導で、コミュニティからは前田直事務局長、辻タツ子青少年育成部会長、森田信一郎地域づくり部会長、重松邦宏さん(西山)に来ていただいて、北目川の水生生物を調べることで、水質を判定する活動を行いました。

川に行く前に目的について学習し、川で生き物を採取した後は、分類、調査をしました。驚くほどにたくさんの生き物がいて、それを種類ごとにシャーレに入れますが、竹のピンセットやスポイトで素早く動く生き物を捕まえるのはとても難しく、面白く、子ども達は夢中になって「坂本先生、これは何という生き物ですか？」と尋ねていました。

結果、北目川は、「きれいな水」に住む生き物もいましたが、「きたない水」に住む生き物も見つかりましたので、それぞれの標本数から、『ややきれいな水』という判定になりました。

今回もまた身近な川の豊かな自然に触れ、生き物のすばらしさを知り、身の回りの環境を守ることの大切さを学ぶことができました。すばらしい体験授業をしてくださった坂本兼吾先生、ありがとうございました！

台風一過の久間小の自慢の枝拾い（9月7日）

「昨日の台風で運動場にたくさんの枝が落ちています。みんなで拾いましょう。」という放送が流れると、全校の子ども達が運動場に出てきて枝や葉っぱを拾い出します。久間小学校の伝統とも言える光景です。

先日の親子除草作業の時もそうですが、朝から自分たちの学校をきれいにするために気持ちのいい汗をかくことができる久間っ子は、本当にすばらしい自慢の子ども達です。

この日も朝の15分位の時間で一輪車8杯分の枝を拾い集め、遊びやすく運動もしやすい安全な運動場になりました。

2年生「生き物大好き」(9月2日)

2年生は久間コミ活動で身近な生き物探しに出かけました。

まずは坂本兼吾先生からザリガニやコオロギなどの特徴や「外来種であるアメリカザリガニは、飼うのだったら最後まで飼う。絶対に川などに逃がしてはならない。」ことを教えていただきました。そして、さきイカや煮干し等のえさを持って、南志田の「ううらため池」まで出かけました。サポーターとしてコミュニティから辻タツ子青少年育成部長、森田信一郎地域づくり部会長、重松邦宏さん(西山)、去年まで事務局長だった中野正さん(北志田)がお手伝いしてくださいました。

外来種とは言え、わくわくするザリガニ釣り。一番釣れたのは中野さんが持ってきてくださった奈良漬けでした。次々と釣りあげる子ども、なかなか釣れずに諦めないで粘ってがんばった子ども、それぞれいい体験ができました。

その後は、畑で虫取りです。子ども達は夢中で虫を追いかけ、笑顔とはしゃいだ声が響いてとても楽しい体験をすることができました。

教室に戻ってからまとめのお話をしていただきましたが、秋の虫の音色がとても心地よく、子ども達もみんな笑顔の大満足の一日でした。

PTA全会員による朝の登校指導2回目(9・10月)ありがとうございます!

9月に入り、早速あちこちで黄色い旗を持って子ども達と一緒に歩いてくださっている保護者の方を見かけるようになりました。地区会長さんが中心になってお世話をしていただいていることと思います。

どの地区にも毎朝子ども達を見守って下さっている方がいらっしゃる久間は、これまた自慢の地区だと思います。子ども達の挨拶はどうでしょうか?お家の方といっしょなら元気な声も出るのではと期待しています。挨拶が身についている子どもは社会でも生きていけると思います。笑顔の挨拶が通い合う久間の地にしたいですね。

CO2センサーを設置しています

なかなかコロナも収まりきれません。

そこで、サーキュレーターや空気清浄機に加え、「換気」の目安を知るために『CO2センサー』を設置しました。暑さ対策の冷房も欠かせませんが、コロナ対策として換気は重要です。数字と赤いサインで子ども達はさっと窓を開けて換気します。

これからも気を抜くことなく、「マスク・手洗い・距離」と共に、換気対策をしていきます。